

ふれあい通信 いづみ

平成27年1月19日発行

19号

発行
社会福祉法人 いづみ会
秋田市泉菅野二丁目17番11号
TEL.018-896-5880



写真を楽しむ泉の会

副会長 石田 和敬

あけましておめでとうございます。「写真を楽しむ泉の会」は発足して5年目を迎えました。会員は現在18名で毎月ウエルビューアーの会議室をお借りして例会を行い、持ち寄った写真を話題にしながら作品づくりに励んでおります。

泉には地域行事として定着している「冬」と「夏」のまつりがあります。「冬まつり」では、降り積もる雪の中を一生懸命ミニながら作りに挑戦する母と子の真剣な表情がみられます。箱ぞりに乗って歓声を上げて喜ぶ子供たちの笑顔など北国に育った逞しさがにじみ出た表情が狙いどころです。「夏まつり」では、ずぶ濡れになりながら水鉄砲を打ち合うわんぱく少年たち、浴衣や甚平でくつろぐ娘さん達の素敵な笑顔、輪をなしして泉おんどうを踊る老若男女、夜店で買いたいものをしながら語り合う人々の表情などを逃がすまいと夢中になつてシャッターチャンスを狙います。年々参加者が多くなつて、「夏まつり」ですが外国の方も多く見受けられ一緒に泉おんどうを踊る姿も微笑ましく感じられます。私たち会員はこうした情景をカメラに収め展示会を開き、いくらかでも地域の発展に貢献していければ幸いと今日もシャッターワークしています。

レンズを通した泉のまつり

癒しのハンドマッサージ

ケアハウス スプリングヒル

入居者の皆様のリフレッシュを兼ねてハンドマッサージと口腔体操を行いました。少しでもお店に行つた気分を味わつてもらいたいと整理券を渡しました。待ち時間を有効に使つてもらえるようビデオを流し、一緒に「お口の体操」を行いました。



ハンドマッサージは、赤ちゃんでも使用できる低刺激のローションを使用し、10～15分程度のマッサージを行いました。日常の出来事やマッサージの感想等、話をしながらゆつたりとした時間を過ごしました。参加者からは、大好評で自分の手を見ながら「とてながり」と笑顔になつたみたい」と笑顔と喜びの声が聞かれ、職員も嬉しくなり笑顔になつしていました。

マッサージ後は、お茶とお菓子を食べながら「自分でも出来るといいわね」と楽しそうに話していました。次回も、「癒しのひととき」となるような企画をしていきます。

祝

「ふわふわモコモコひつじッリー」
心いきいき芸術・文化祭 奨励賞



やったよー！

特養のクリスマス

特別養護老人ホーム リンデンバウムいづみ



保育室からみえる花火

ウェルビューいづみこども園



ある日の夕方、子どもたちから「あっ。花火だ！きれい。」という声が上りました。「ん？」と保育士が子どもたちを見ると、すりガラスにピタッと顔をくっつけています。どうやら車のライトを「花火」と話しているようです。暗くなつてからすりガラスや網戸に顔をつけると、一瞬で通り過ぎる車のライトが、まるで花火のように見えるのです。

スケールアップで奨励賞

ウェルビューいづみ
障害福祉サービスセンター（多機能型）

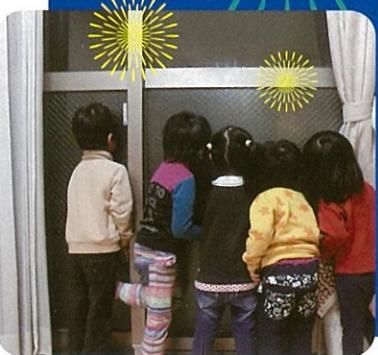
昨年9月に自立訓練事業を廃止したのに伴い、新たに7名が生活介護事業の利用を開始しました。その為、総勢27名の大所帯となりました。当初は元々の余暇を中心とした班と、新たに加わった作業を中心とした班と、分かれ行う活動が多かつたのですが、そんな仲間たち全員が一丸となつて驚いた様子でした。

年末をたくさん笑顔で過ごすことができました。また新たな年も楽しく充実した生活を送ることができます。

職員一同努力ていきます。

ました。この作品を12月4、5日に開催された、障害者の文化祭

「心いきいき芸術・文化祭」に出演したところ、なんと奨励賞を受賞することができました。一緒に取り組んだ思い入れのある作品だっただけに、皆さん大いに喜びました。今後もスケールアップした生活介護事業で、日々のレクリエーション、制作活動や作業に明るく楽しく取り組み、一步



あっ。花火だ！
きれい。

さっそく、保育士も子どもたちと一緒に花火鑑賞を楽しみました。子どもたちが見て・感じて・発見した想像花火。子どもたちの感性に「ラボーラボーラボー」乾杯です。

共に歩む

リンデンバウムいづみ デイサービスセンター
ウェルビューいづみ 老人デイサービスセンター

◎敬老会

9月17日(水) 初となる秋田県赤十字芸能奉仕団による、民謡を生で楽しみ、合同でのお祝いがきました。



◎第3回家族懇談会

11月16日(日)に12家族の参加。自宅での様子から始まり、悩みや不安に思うこと等…、活発な交流会を行うことができました。樋口了一氏の「手紙」という歌を聞きながら皆で涙しました。



◎お正月飾りづくり

3年目になった、今年の干支「未」を粘土で手作りしました。土からこねて形を作り、それぞれが自分らしい作品を完成させました。



積木(ジエンガ)と同じ要領で下の缶をバランスに気を付けながら抜いているところです。下の缶の本数が減ると難易度が上がり、缶を抜くときは皆さんが息をのんで見守ります。歓声やため息が入り交じるなど白熱した展開になります。また毎月誕生会を開いては、同月のお誕生者を皆さんのが声で祝福し、アットホームな雰囲を感じることができます。

リンデンバウムいづみ デイサービスセンター

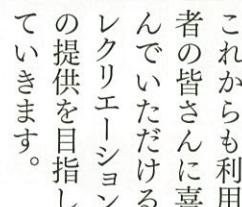
「寒さに負けずと白熱のレクリエーション」



今年は「ひつじ年」です!

ウェルビューいづみ老人デイサービスセンター

レクリエーションの時間などを活用して、モコモコのかわいい「羊」を完成させました。白いお花紙で沢山の花を作り、羊の体の部分を作りました。会話をして楽しみながら取り組むひとときは、今年一年をあらわすような笑顔いっぱい素敵な時間でした。



特集

委員会の取り組み

感染症予防対策「手洗い検証」

インフルエンザやノロウイルス

と闘う季節がやってきました！どんな方法で戦つたらいいのでしょうか？まずは鉄壁の守りです。

誰もが出来て、一番有効なのは手洗いとマスクです。そして清潔と

清掃です。そこで、当法人では職員が正しい手洗いを実行できるよう、「手洗い検証」をおこなっています。今年で3年目ですがほとんどの職員が参加しました。自分の

手洗いの弱点を確認し、正しい手洗いを実行し、感染源から利用者の皆さんも我々自身も守り、変わらなく各種サービスを提供してまいります。



忘年会 尺八とともに

生活支援ハウス ウェルビューいづみハウス

昨年12月26日(金)生活支援ハウスの皆さんが一堂に会して、毎年恒例の忘年会を開催しました。当日は、秋田県日赤芸能奉仕団の一員であります中村久夫さんから尺八童謡を演奏していました。また、



練習と余暇の企画にしていきたいです。



尺八に合わせて皆さんで合唱し、その後カラオケで楽しいひとときを過ごしました。

『働く』を続ける上での『働く』余暇企画

障害者就業・生活支援センター

当センターでは、毎月2回の余暇企画を実施しています。

『料理教室』と『集いの場』です。

料理教室は平成18年から一人暮らしした時の自炊の練習と

参加者と楽しくお喋りしながらも、食材の仕込みや火加減、

味付けの時は真剣です。先生からは、栄養やカロリーの事など健康面のアドバイスもしていただいているます。出来あがつた料理は、達成感と満足感と一緒に味わっています。食後は食器洗いや後片付けも全員で行

ないます。包丁を触った事がない人も今ではサクサクと切れ

るようになりました。レシピを持ち帰って家族に作つてあげる方もいます。これからも基本的な自炊

2

私たちには豊かな知識を身につけて、質の高いサービスを提供できる施設をめざします。

3

私たちは地域とともに力を合わせ、地域福祉に貢献できる施設をめざします。



1

私たちは利用者や家族の気持ちを尊重し、ニーズに応えられる施設をめざします。

地域ふれあいまつり

昨年10月19日(日)に恒例となりました、いづみ会の「第12回地域ふれあいまつり」がリンデンバウムとウェルビューア施設を会場に午前10時から開催されました。リン

デンバウムでは、泉中学校吹奏楽部の演奏を皮切りに、秋田ムジークシユザエルマーブラスの吹奏楽、ウェルビューコども園の歌と踊りがあり、お客様から大きな拍手を頂きました。また、販売コーナーでは、野菜、生花、軽食などが販売され、好評を得ておりました。

今回「骨密度測定」が大変人気を呼び関心の高さが感じられました。ウェルビューでは、「若葉の会」のフリーマーケットを同時開催しました。また、施設利用者の皆様の貼り絵や編み物、書道等々の作品展示をはじめ「写真を楽しむ泉の会」の素晴らしい作品を出展いたしました。また、地域の皆様のご協力により作品展示コーナーも華やかになりました。「街角陶芸サロン」の抹茶茶わんも展示していただき、地域の皆様のご協力により作品展示コーナーも華やかになりました。「街角陶芸サロン」の抹茶茶わんも展示してい

ます。

ものとなりました。同会場では、「がじゅまるの木」による喫茶コーナーにてシフォンケーキや飲み物の提供を行いお客様の憩いの場となつておりました。

泉の文化祭に参加して 街角陶芸サロンいづみの活動紹介

昨年5月、秋田市ですすめていた「秋田市地域保健・福祉推進事業」に「陶芸を通して地域の高齢者の文化活動に寄与したい旨」申請し認めていただきました。毎週水曜日・土曜日にウェルビュ

いづみの陶芸作業室をお借りし「街角陶芸サロンいづみ」を実施し、赤楽茶碗、湯呑み、サロンいづみの陶芸作業室をお借りし、「街角陶芸サロンいづみ」を実施し、赤楽茶碗、湯呑み、

一輪挿し等に挑戦し

ています。

この活動計画に「泉の文化祭」参加を目標にしました。

「おとのな学校」「自分だけの居場所づくり」

をめざし、月1回発行の「活動だより」には

会員の相互理解を深めるために陶芸にまつわる話題を載せて

います。また、文化祭に展示した作品は町内の皆様に手にとって

見てもらうようにしま



ものとなりました。同会場では、「がじゅまるの木」による喫茶コーナーにてシフォンケーキや飲み物の提供を行いお客様の憩いの場となつておりました。

スタッフ紹介

どうぞ、よろしくお願ひします。

リンデンバウムいづみ ホームヘルパー ^{ステーション} 田中萬里子	リンデンバウムいづみ デイサービスセンター 中野登美子	特別養護老人ホーム リンデンバウム いづみ	特別養護老人ホーム リンデンバウム いづみ	ウェルビューアいづみ 次長 柴田ひろ子
		 谷村真梨子		 高橋浩美

した。泉の文化祭に展示した40点余の「赤楽茶碗」は、茶の湯の場面ではよく目にしますが、自分たちで作ったお茶碗にお茶を点てて飲むところに自分たちの喜びがあります。心和む時間となりました。現在はウェルビューと考えております。



永年勤続表彰

ずみの地域交流スペースの一角に自前の釉薬をかけた「湯呑み」を展示しております。手にとってご覧いただければうれしいです。

社会福祉法人いづみ会は、10年以上勤務された職員を永年勤続表彰しています。今回は6名の方が表彰されました。

